

大橋学園高校医療コースの実践報告（第1報）

小出 益徳¹⁾、田中 宏明¹⁾、山崎 治行¹⁾、北川 順子¹⁾、青木 孝哉¹⁾、大塚 亮¹⁾、
東松 恵子¹⁾、堀 重信²⁾、片山 恵里²⁾、鈴木 達哉³⁾、山本 歩⁴⁾、大橋 正行⁵⁾

要旨

【はじめに】我々は、ユマニテク看護助産専門学校看護学科（以下、看護学科とする。）とともにユマニテク医療福祉大学校（以下、本校とする。）敷地内に 2022 年 4 月に新たに設立された大橋学園高校（以下、高校とする）通信制普通科医療コースで実践したことを報告する。【開設までの準備】学校法人みえ大橋学園法人本部学監、本校校長、事務長、理学療法学科・作業療法学科・歯科衛生学科の各学科長、看護学科学科長及び担当教員、大橋学園高校等校長、教頭、担当で構成されたメンバーで打ち合わせを行い、準備を進めた。【オリエンテーション、医療コース概論、医療の探求Ⅰ】2022 年 4 月から 7 月まで授業を行った。【授業準備と進め方、授業の印象、4 月から 7 月までの生徒の授業についての感想】医療コース設立の趣旨に沿った視覚教材の検討を行い、課題提示や穴あき問題の実施を通して、内容の理解を目的とした授業を行った。授業の印象に関しては生徒の反応は素直であった。授業についての感想は概ね良かった。また、生徒からは専門分野に特化した授業をしてほしいとの希望があった。【3 年間の授業計画（本校実施分のみ）】1 年で 2 科目、2 年、3 年で 1 科目ずつ担当する。【その他の参考番組】NHK や民間放送局（以下、民放とする。）の「健康・医療」に関する番組が参考となった。【まとめ】我々は、夏休み以降、生徒の成長をみながら、テーマ設定や内容について検討工夫をしながら、行っていきたいと考える。

キーワード 健康・医療 動画 医療コース

はじめに

我々は、本校敷地内に 2022 年 4 月に新たに設立された高校通信制普通科医療コース（定員：1 学年 30 名、3 学年合計 90 名、場所：本校 15 号館 2,3 階）の生徒に対する 2022 年 4 月から 7 月までの医療専門基礎群の授業を担当した。一般に高校には全日制と通信制があり、全日制は在籍年数が 3 年で、卒業に必要な単位数は 74 単位以上必要で、学習形式は平日の日中 5 時間から 8 時間程度、学校で一斉授業を受ける。一方、通信制は在籍年数が 3 年以上で、卒業に必要な単位数は 74 単位以上が必要であることは全日制と同じだが、学習形式は特に決まりはないため、定められた時間以外の残りの時間を自由に使うことができる。卒業に必要な 74 単位は基礎学力群の授業と卒業に必要な授業として実施する分として取り扱われることになった。通信制を卒

1) ユマニテク医療福祉大学校 2) ユマニテク看護助産専門学校 3) ユマニテク短期大学附属教育研究所副所長 4) 学校法人みえ大橋学園法人本部学監 5) 学校法人みえ大橋学園・学校法人大橋学園会長兼理事長

業しても全日制を卒業しても、高校卒業資格は同じで、卒業証書にも通信制と表記されない。

我々の課せられた使命は、本来高校の正課授業を行う資格のない我々が、正課外の授業を担当するというものであった。我々は、それぞれ、国家資格を持ち、看護、理学療法、作業療法、歯科衛生の専門性に基づく授業経験はあるが、高校生への授業経験は、校内ガイダンスでわずかに経験があるのみであった。我々は、開設までの準備、2022年4月から7月までの医療専門基礎群の授業内容と経過等の実践したことについて報告する。

開設までの準備

医療コースの設立は「高校に入学してきた生徒達が、医療の楽しさや医療に興味を持ち、医療が好きになり、医療を志すきっかけに寄与すること」を目的とした。本校教員と看護学科の教員が関わることが決まったのが2021年4月で、開設までの時間が短期間であることや、通常業務がある中での授業が可能かという懸念事項を抱えながら、数回にわたり、学校法人みえ大橋学園法人本部学監、本校校長、本校事務長、本校3学科長（理学療法学科・作業療法学科・歯科衛生学科）・看護学科（学科長及び担当教員）、高校（校長、教頭、担当者）で打ち合わせを行った。

授業内容に関して、看護も含む医療系に進学希望を持つ意欲の高い生徒の入学を予測し、近隣他校や全国の上級校（大学、専門学校等）を有する高校・専修学校の中で「医療コース」、「看護医療コース」、「医療福祉コース」等のコース名称表記を行っている公立・私立高校約200校のカリキュラムを参考に、独自に検討した。高校からの要望で2021年7月からはじまる体験入学会で実際に実施される授業内容を踏まえる必要があった。授業内容の検討と体験入学会の開催がほぼ同時進行という形となった。2021年7月に1年で実施する授業の日程の要望を高校と調整を図った。1年の授業内容について未完成ながら形が出来上がったのが2022年2月末頃であった。しかし、入学する生徒の学力レベル等は不明であり、約30時間の授業内容を検討するのみであった。

授業内容の検討が最大の課題となった。高校で使われている衛生看護科や福祉科で使われている教科書は、高校医療コースに合う適切な教材は見当たらなかった。そのため、できるだけ視覚教材^{1,2)}を見つけることが先決との結論に達した。我々が、それぞれの専門内容を高校生向けに、いかにわかりやすく伝えるかが最大の役割と考えた。そのために、まず、一般的な高校普通科での授業の流れや教授方法を学ぶ必要性を感じて、勉強することから始まった。参考になったのが「NHK 高校講座」である。番組内では、実際に高校生が出演し、視聴者目線での番組構成がなされ、さらに、司会進行等には芸能人やアイドルを採用し、興味も高める工夫がなされている。例えば、新しい手話講座番組「手話シャワー」番組にも出会え、手話に興味があるという長濱ねる氏（職業：ミュージシャン）が、全国のろう学校の生徒から手話を学ぶ内容であった。

実際の授業が始まってみると、「授業に関してメモを取る」、「授業を聴く」、「授業を理解する」等に関しての準備ができていないことに加えて、クラス内での生徒同士の人間関係も構築されていない生徒の現状を踏えて、さらなる工夫が必要となった。そこで、我々は、NHKや民放番組に関して「医療」、「健康」、「医学」、「医師」、「看護師」、「理学療法士」、「作業療法士」、「歯科衛生士」、「福祉」のキーワードをもとに検索した。そもそも、高校では専門課程で存在するシラバスが存

在せず、高校学習指導要領で示されている教授内容も担当教員によるところが大きく、学習能力の格差を生んでいる一因でもある現状があった。

また、我々は、30年以上にわたり公立高校での国語教育の現場経験を持っておられる鈴木達哉先生に、今の高校生の現状、一般的な高校普通科での授業の流れや教授方法のご指導を賜った。試験は実施しない方向性で高校と打ち合わせたため、高校から到達度ノートを作成していただき、提供を受けたが、専門課程との授業の兼ね合いで毎回添削することが困難と判断し、採用しなかった。代わりに、独自に授業のまとめや感想の記入を実施し、振り返りシートとしてほぼ毎回行った。次に2022年4月からの「オリエンテーション」、「医療コース概論」、「医療の探求Ⅰ」の実施内容について目的、実施テーマ（課題内容）、授業日、担当者を報告する。

「オリエンテーション」

- ・「授業中のメモの取り方」（授業日 2022 年 4 月 13 日 コマ担当 鈴木達哉先生）
- ・「授業内容のまとめ方」（授業日 2022 年 4 月 18 日 コマ担当 鈴木達哉先生）
- ・「授業の聴き方」（授業日 2022 年 4 月 20 日 コマ担当 鈴木達哉先生）

「医療の探求Ⅰ」（水曜日 3 限目 責任担当 山崎治行先生）

「医療の探求Ⅰ」の目的は、できるだけ理解しやすいように視覚教材を用いて、配布資料を読むことで、極力、専門用語を使わずに「医療」の魅力を伝え、「医療」を考えてもらう授業を創出することに力点を置くこととして、1つでも多くの疑問点や出てきたわからない用語を書き出し、調べることに取り組むことを目的とした。2022 年 4 月～7 月までは筆者、青木孝哉先生、山崎治行先生が担当した。以下に実施テーマと参考番組を示す。

実施テーマ：

- ・「生命の誕生を学ぼう ～妊婦の気持ちを知ろう、胎児モデルを使って～①⁴⁻⁶」。(授業日 2022 年 4 月 27 日 コマ担当 筆者)
- ・「生命の誕生を学ぼう ～動画中のわからない語句を調べてみよう～②⁴⁻⁶」。(授業日 2022 年 5 月 11 日 コマ担当 筆者)
- ・「体循環・肺循環を理解しよう」。(授業日 2022 年 5 月 18 日 コマ担当 青木孝哉先生)
- ・「生命の誕生を学ぼう ～動画中のわからない語句を調べてみよう～③⁴⁻⁶」(授業日 2022 年 6 月 1 日 コマ担当 筆者)
- ・「PCR 検査の目的と役割、新型コロナ感染症による影響で変化した（ロボット技術の応用）検査体制、医療で生じるヒューマンエラーを理解しよう」(授業日 2022 年 6 月 8 日 コマ担当 筆者)
- ・「主人公の外科医になりたい理由について理解しよう」、「自閉症等のわからない語句を調べてみよう」(授業日 2022 年 6 月 15 日 コマ担当 筆者)
- ・「『免疫細胞のはたらき』を理解しよう」(授業日 2022 年 6 月 22 日 コマ担当 筆者)
- ・「新型コロナウイルス収束のかぎである『mRNA ワクチン』のしくみと特徴を理解しよう」(授業

日 2022 年 6 月 29 日 コマ担当 筆者)

- ・『地球温暖化』と『飢餓』について理解しよう」、「『SDGs』に関する新聞記事を読み、概要をまとめよう」⁷⁻¹⁴⁾ (授業日 2022 年 7 月 13 日 コマ担当 筆者)
- ・「健康（医療）と福祉について理解しよう」、「東京都町田市 認知症の方と共に生きる街づくりの取り組み例を理解しよう」、「あなたが行ってみたいと思う取り組み例を視聴する動画や全国・三重県での例から自分で取組めることを考えよう」⁷⁻¹⁴⁾ (授業日 2022 年 7 月 13 日 コマ担当 筆者)

参考番組等：

- ・NHK スペシャル「生命誕生 小さな受精卵があなたになるまでの物語」
- ・アニメ「はたらく細胞エピソード8 血液循環」
- ・NHK 「The Signs 変異株を検出せよ！日本のPCR 検査最前線」
- ・海外ドラマ「グッドドクター名医の条件 シーズン1 エピソード1 雨の日の匂い」
- ・アニメ「はたらく細胞 エピソード3 インフルエンザ」
- ・NHK「サイエンス ZERO 新型コロナ収束のカギ！mRNA ワクチンに迫る」
- ・NHK「高校講座 科学と人間生活 SDGs がひらく未来」
- ・中日新聞記事（掲載日 2022 年 3 月 28 日）
- ・テレビ東京「ガイアの夜明け 認知症の常識が変わる」

「医療コース概論」（月曜日 3 限目 責任担当 筆者）

「医療コース概論」の目的は、医療に関心をもってもらえるよう、できるだけ理解しやすい視覚教材を用いて、実習等の体験を通して、患者さんや医療従事者の患者さんに対する気持ちを理解する。また、主要な医療従事者を知り、その役割を理解することを目的とした。2022 年 4 月～7 月までは青木孝哉先生、筆者、山崎治行先生、田中宏明先生が担当した。以下に実施テーマと参考番組を示す。

実施テーマ：

- ・「医療の現場で働くメディカルスタッフについて学ぼう」（授業日 2022 年 4 月 25 日 コマ担当 青木孝哉先生）
- ・「医師、看護師、介護福祉士の役割を学ぼう」^{15, 16)} (授業日 2022 年 5 月 2 日 コマ担当 筆者)
- ・「患者、医師、言語聴覚士、作業療法士の役割を学ぼう①」^{15, 16)} (授業日 2022 年 5 月 9 日 コマ担当 筆者)
- ・「患者、医師、言語聴覚士、作業療法士の役割を学ぼう②」^{15, 16)} (授業日 2022 年 5 月 16 日 コマ担当 筆者)
- ・「看護師の役割を学ぼう①」¹⁷⁻²⁵⁾ (授業日 2022 年 5 月 23 日 コマ担当 筆者)
- ・「看護師の役割を学ぼう②」¹⁷⁻²⁵⁾ ((授業日 2022 年 5 月 30 日 コマ担当 筆者)
- ・「臨床検査技師、救急救命士、作業療法士の役割を学ぼう①」²⁶⁻³¹⁾ ((授業日 2022 年 6 月 6 日 コマ担当 山崎治行先生)

- ・「臨床検査技師、救急救命士、作業療法士の役割を学ぼう②」²⁶⁻³¹⁾ (授業日 2022 年 6 月 13 日 コマ担当 山崎治行先生)
- ・「臨床検査技師、救急救命士、作業療法士の役割を学ぼう③」²⁶⁻³¹⁾ (授業日 2022 年 6 月 20 日 コマ担当 山崎治行先生)
- ・「生命を尊ぶ心 (生命の価値) 脊髄損傷の患者さん・家族の気持ちを知り、関わる医師、看護師、理学療法士の役割を学ぼう、車いす、障害、医療チームについて学習しよう①」³²⁻³⁹⁾ (授業日 2022 年 6 月 27 日 コマ担当 田中宏明先生)
- ・「生命を尊ぶ心 (生命の価値) 脊髄損傷の患者さん・家族の気持ちを知り、関わる医師、看護師、理学療法士の役割を学ぼう、車いす、障害、医療チームについて学習しよう②」³²⁻³⁹⁾ (授業日 2022 年 7 月 11 日 コマ担当 田中宏明先生)

参考番組：

- ・NHK 「逆転人生 過疎地の病院を救え 新米医師の奮闘」
- ・NHK 「BS1 スペシャル おうちに帰ろう ～医療者たちの新たな挑戦～」
- ・NHK スペシャル 「看護師たちの限界線 密着新型コロナウイルス集中治療室」
- ・NHK 「BS1 スペシャル 私たちのデジタル医療革命 2022」

その他の参考番組

今回、一番多く参考とした番組が「NHK スペシャル」、「BS1 スペシャル」、「きょうの健康」である。この理由は、パネルでの解説を専門家が行っており、医療従事者と患者さんとの関係性が明確であることが挙げられる。テーマが最新であり、生徒の興味や注目を引き付けやすいことも考えた。取扱いしやすい番組の時間は 15 分から 30 分である。一方、取扱わなかった番組は「ヒューマニエンス」である。2022 年 4 月から 6 月まで放送された「ヒューマニエンス Q (クエスト)」はただ単に「ヒューマニエンス」を 30 分に編集しただけの番組であり、前述した理由に当てはまらなかった。比較的参考頻度の高い NHK の番組としては、「あしたが変わるトリセツショー」、「チョイス@病気になったとき」、「サイエンス ZERO」、「病院ラジオ」、「週間まるわかりニュース▼ミガケ好奇心」、「BS 世界のドキュメンタリー」、「クローズアップ現代」、「ドキュランドへようこそ」等で、民間放送の番組では、日本テレビ「NNN ドキュメント」、テレビ東京「ガイアの夜明け」、TBS テレビ「情報 7days ニュースキャスター▼フォーカス」・「情熱大陸」・「健康カプセル! ゲンキの時間」・「報道特集」等である。

平成 25 年版情報通信白書⁴⁰⁾と少し古いデータになるが、制作している番組の種類では「教養」番組は全体の 27%と 2 番目の多さとなっており、一定度の視聴者の興味が医療を含む教養に興味があり、参考とすべき番組としては今後も活用できうると考える。また、令和 3 年度には全年代で、平日の「インターネット利用」の平均利用時間が「テレビ (リアルタイム) 視聴」の平均利用時間を初めて超過⁴¹⁾しており、一方向であった学び方や学ぶ方法が双方向や多方向等へ多様化することが考えられる。

今後、時代は ICT 化に向けて進んでおり、教育分野では、「電子黒板・デジタル教科書」が 7 割

を超える実施率となり、「校務支援」も3割を超えた。経年でみると、「電子黒板・デジタル教科書」と「学校間の遠隔教育」で増加が見られ⁴²⁾、教材の活用法や授業形態もどのような形態が望ましいのか検討していきたい。

授業準備と進め方

授業準備と進め方は、表1に示す。

表1. 授業準備と進め方

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 授業当日までの授業準備としては、Power Point や Word 等で作成した配布資料は、医学用語、専門用語、解説し、口頭での説明も加えた。必要に応じてルビふりも行った。配布頁が過度に増えないよう、感想も含めて概ね6頁までとした。2. 授業当日、コマ担当者が鈴木達哉先生に、授業前に授業の流れを説明し、配布資料を確認した。3. 授業の進め方は、授業内容に関して、生徒の理解度を直接尋ねたり、確かめたりしながら、不十分であると考えられる時はその場で、解説を加えた。4. 適宜、課題を課し、時間が許す限り、全員の完成を待った。課題提示は1回の授業中に、基本2つとし、内容が薄い場合は3つ行い、穴あき問題等も併用して確認した。必要に応じて、次回も復習の機会を設けた。 |
|--|

課題遂行は時間が許す限り、全員の完成を待ったが、予想外に手間取る場合もあった。わからない語句の検索のために、教室内にあるパーソナルコンピューター（以下、PC）を用いたが、PCの使用方法がわからず、時間を要する生徒が多かった。そこで、各自が持っているスマートフォン（以下、スマホ）で検索を行い、これは普段使い慣れていることもあり、比較的スムーズに行うことができた。

授業の中で「世界保健デー（4月7日）」、「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」等の医療に関する記念日の紹介も行った。

授業の印象

4月当初、教授する側も生徒達も非常に緊張していたが、授業が進むにつれて、生徒の能力差が見受けられた。授業中に発言を求めたりしないような配慮も行った。私語も散見されることもあったが、相対的に、真面目に取り組む印象であった。クラス内での生徒同士の人間関係構築の様子も高校からも情報収集し、鈴木達哉先生からの助言もいただき、授業に反映させた。

当初、4月から7月までに書籍「宮坂 昌之：新型コロナ 7つの謎. 最新免疫学からわかった病原体の正体（ブルーバックス）新書，p224，2020.」、「日本リハビリテーション病院・施設協会、日本リハビリテーション医学教育推進機構：総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト，p652，2021.」の黙読とまとめの課題を検討したが、鈴木達哉先生とも相談し、今後、9月以降で生徒の様子をみて検討していくこととした。

4月から7月までの生徒の授業に関する感想

「医療の探求Ⅰ」、「医療コース概論」を4月から7月まで受講した生徒18名に対して、7月の最終授業終了時に実施した授業についての感想の結果を示す。

良かった点は、「多くの学生から医療分野への進学意欲が高まった」ことや、「色々な職業理解を得ることができた」ため、「将来の進路選択肢が増えた」といった、「医療分野への興味が高まった」という感想が多くみられた。さらに、授業の進行方法として「視聴覚教材が多く興味が高まった」や「PowerPoint等を用いた配布資料が多かったことで授業を理解しやすかった」であった。また「医療を通して、SDGs等の社会情勢についての理解が深まった」との意見があった。

改善点は、生徒の中には、現時点で進学したい分野が明確になっている生徒が数名おり、「自分が目指す職業への理解を深めたい」であった。

3年間の授業計画（本校実施分のみ）

1年：「医療の探求Ⅰ」、「医療コース概論」

2年：「臨床の医療」（仮称）

3年：「医療の探求Ⅱ」（仮称）

1コマ当たり50分授業で各科目を年間約30時間行う。

まとめ

1年「医療の探求Ⅰ」では、「医療探求Ⅱ」に予定している作文や小論文作成のための題材提供として位置付けて内容を検討した。実際には1年では探求することがまだ早い生徒もあり、「探求の準備」として捉えた。そのために、資料を準備し、なるべくわかりやすく解説を加えた。今後は、適宜、体験や実技を交えて行うよう、改善していきたい。我々は、夏休み以降、生徒の成長をみながら、テーマ設定や内容について検討工夫をしながら、行っていきたいと考える。「医療コース概論」では、職業について知らない生徒がほとんどであるという想定授業の準備を進めた。しかし、実際は明確に職業選択をしている生徒も見られた。その生徒には、さらに、その職業の喜びや苦勞する点について、自分の気持ちを確認する展開にも配慮した。高校も職業理解のための授業を同時進行で行っており、内容の重複がないか等打ち合わせができると良かったと考える。

また、概ね10年毎に見直される高校新教育課程（新課程）のカリキュラムが2022年度から実施され、専門課程に及ぼす影響にも気づくことができた。

本校と看護学科とプロジェクト的に共同して行う経験も初めてであったが、お互いから学び合えることもあと良いと考える。

以上、高校医療コースでの医療専門基礎群の授業内容と経過等の実践したことについて報告した。

謝辞

「医療コース概論」（授業日：2022年5月23日、30日）では、本校の大塚 亮先生に参考資料

の収集、配布資料を全面的に作成していただいた。

「医療の探求Ⅰ」（授業日：2022年4月7日）では、ユマニテク看護助産専門学校助産専攻科の丹羽律子先生より胎児モデルをお借りし、「抱っこ体験」についてご教授いただいた。本校事務長はじめ、事務職員の藤井奈美路氏、酌井綾子氏には授業準備をお手伝いいただいた。

本校及び看護学科図書館の蔵書を借用し、資料作成を行った。

参考文献・参考動画

- 1) 平成 23 年度情報通信白書.2 情報収集講堂の変化. (1) 利用情報源としてのウェブサイト.
(https://www.cao.go.jp/consumer/history/02/kabusoshiki/anzen/doc/011_120402_sankou6.pdf
閲覧日 2022 年 9 月 25 日)
- 2) Adrian F. et al : Brain Drain: The Mere Presence of One's Own Smartphone Reduces Available Cognitive Capacity. Journal of the Association for Consumer Research, 2(2), 140–154.2017
- 3) 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）
(<https://www.youtube.com/watch?v=GIMzzkjhn08> 閲覧日 2021 年 4 月 19 日)
(医療の探求Ⅰ)
- 4) 井上裕美,他：病気が見える 産科.pp24,25,医療情報科学研究所,2014.
- 5) 貴邑富久子,他：シンプル生理学.pp196,197,南江堂,2021.
- 6) 真鍋俊也,他：脳神経科学イラストレイテッド.pp105～112,154～161,羊土社,2013.
- 7) Cheng JC, et al. Adolescent idiopathic scoliosis. Nat Rev Dis Primers. 2015 Sep 24;1:15030.
- 8) Kou I, et al. Genome-wide association study identifies 14 previously unreported susceptibility loci for adolescent idiopathic scoliosis in Japanese. Nat Commun. 2019 Aug 15;10(1):3685.
- 9) Sekine K, et al. Generation of human induced pluripotent stem cell-derived liver buds with chemically defined and animal origin-free media. Sci Rep. 2020 Oct 21;10(1):17937.
- 10) ミレニアム開発目標レポート 2015,国連.
(<https://www.unic.or.jp/files/e530aa2b8e54dca3f48fd84004cf8297.pdf> 閲覧日 2022 年 5 月 1 日)
- 11) SDGs レポート 2021,国連.
(https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/ 閲覧日 2022 年 5 月 1 日)
- 12) 第 5 回ジャパン SDGs アワード,外務省.
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/award/index.html> 閲覧日 2022 年 4 月 6 日)
- 13) 宮本謙三：SDGs...理学療法士にできること.高知県理学療法士協会ニュース.No.172,2021.
(<http://www.kopta.net/wp-content/uploads/2021/12/shikainews172.pdf> 閲覧日 2022 年 5 月 29 日)

- 14) NHKBS「Medical Frontiers 遠隔医療でへき地を救え」(放送日 2021 年 8 月 28 日 30 分)
(医療コース概論)
- 15) 医師確保計画を通じた医師偏在対策について. 厚生労働省第 4 回地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ資料 1
(<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000937014.pdf> 2022 年 5 月 30 日閲覧)
- 16) 施設の看取りあれこれ.公益社団法人福岡県看護協会,令和元年 9 月発行.
- 17) 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療手引き第 7.1 版.2022.
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000923423.pdf> 閲覧日 2022 年 4 月 30 日)
- 18) 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント第 1 版.2022. (<https://www.mhlw.go.jp/content/000952700.pdf> 閲覧日 2022 年 4 月 30 日)
- 19) 日本リハビリテーション医学会感染対策指針 (COVID-19 含む)
(https://www.jarm.or.jp/document/guideline_jarm_infection.pdf 閲覧日 2022 年 4 月 30 日)
- 20) 高橋哲也,森沢知之,齊藤正和: 集中治療における理学療法: 質保証と課題.日集中医誌 2021;28:267-76.
- 21) 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 病原体検査の指針第 5.1 版.2022.
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf> 閲覧日 2022 年 4 月 30 日)
- 22) COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) 感染対策/ 作業療法業務について (Ver.3)
(https://www.jaot.or.jp/files/news/covid19/COVID-19_OTgyoumu_Ver3.pdf 閲覧日 2022 年 4 月 30 日)
- 23) 新型コロナウイルスワクチン接種実施体制における薬剤師の活動事例
(<https://www.nichiyaku.or.jp/assets/uploads/activities/jirei20210615.pdf> 閲覧日 2022 年 5 月 1 日)
- 24) 宮坂昌之:新型コロナ 7 つの謎 最新免疫学からわかった病原体の正体 (ブルーバックス), 講談社,2020.
- 25) 丸山 優二 ,NHK スペシャル「人体」取材班 : 人体 神秘の巨大ネットワーク 臓器たちは語り合う (NHK 出版新書),NHK 出版,2019.
- 26) 宮本みち子,安部サト,他: 新家庭総合パートナーシップ学習ノート.実教出版,2017
長野敬,牛木辰男: サイエンスビュー生物総合資料 四訂版. 実教出版,2019
- 27) NHKBS1「Medical Frontiers シリーズ再生医療 (1) 自分の細胞で脳を再生」(放送日 2022 年 2 月 5 日 30 分)
- 28) 日本リハビリテーション病院・施設協会、日本リハビリテーション医学教育推進機構: 総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト.pp228,2021.
- 29) 浅川 康吉: 地域理学療法学 (Crosslink 理学療法学テキスト).pp220~223,メジカルビュー社,2019.
- 30) 山口和克: 新版 病気の地図帳.pp72,73,122,123, 講談社,2014.
- 31) 落合慈行: 整形外科ビジュアルブック第 2 版.pp88,431,学研秀潤社,2009.

- 32) 岡庭豊：病気がみえる vol.11 運動器・整形外科.pp400~403,医療情報科学研究所,2017.
- 33) 酒井郁子：リハビリテーション看護 改訂第3版 障害のある人の可能性とともに歩む（看護学テキスト NiCE）.pp38,南江堂,2021.
- 34) ロコモティブシンドローム (<https://locomo-joa.jp/check/test/> 閲覧日 2022 年 3 月 30 日)
- 35) 玉木彰：理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸.第2版.15 レクチャーシリーズ.pp92,93,中山書店,2017.
- 36) 高橋哲也：最新理学療法学講座 内部障害理学療法学.pp92,93,医歯薬出版,2021.
- 37) 川村治子：看護の統合と実践[2] 医療安全 第4版（系統看護学講座 統合分野） 2018.
- 38) 中山和弘：看護情報学 第3版（系統看護学講座 別巻）,2021.
- 39) 茂野香おる：基礎看護学[1] 看護学概論 第17版（系統看護学講座 専門分野）,2021.
- 40) 総務省：平成 25 年度情報通信白書 第2部 情報通信の現況・政策の動向 第8節コンテンツ市場の動向.（4）放送系コンテンツの市場動向.
（<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242510.html>） 閲覧日 2022 年 9 月 25 日）
- 41) 総務省：令和 3 年度情報通信白書 第2部 基本データと政策動向.第2節 ICT サービスの利用動向.（1）主なメディアの利用時間と行為者.
（<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242510.html> 閲覧日 2022 年 9 月 25 日）
- 42) 総務省：平成 29 年度情報通信白書 第2部 基本データと政策動向.第3節 地域における ICT 利活用の進展状況.（2）分野別の ICT 利活用状況.イ教育分野.
（<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc263120.html> 閲覧日 2022 年 9 月 25 日）